

久が原地区管内		人口	男 12,423人 女 12,157人 計 24,580人
		世帯	10,084世帯
4月1日現在(住民基本台帳による)			

くがはら

発行：わがまち大田久が原地区
推進委員会

編集：地域情報紙「くがはら」
編集委員会

事務局：大田区久が原特別出張所
〒146大田区久が原2-19-3
☎(3752)4271

ホワイトセルフス 街の清掃で表彰



町内清掃をする『ホワイトセルフス』

毎月第一日曜日の朝、ユニホーム姿の女の子達が、背丈より高い竹ぼうきで、町内清掃をしている光景を目にされた方はいらっしやいませんか。久原小学校の二年から四年

までの有志、ソフトボールチーム『ホワイトセルフス』のメンバーです。ホワイトセルフスは、三年前、青少年健全育成の一環として誕生し、地区対委員の指導監督の下、又熱心な父母会の後援で育てられて来ました。スポーツを楽しむながら、社会に役立つ仕事を手がけ、豊かな優しい心も育てよう。と、月一回の地域清掃も三年前から始められました。用具の持ち方から使い方で、手ほどきを受けた子供達。しかし今は、無分別に投げ捨てられたゴミを集めながら、自分の身を正すことも考え話し合っているいい子達です。去る三月三日、区民プラザで行なわれた大田区青少年健全育成大会の席上、よい子よ表彰の栄を受けました。おめでとう！ありがとうございます！ホワイトセルフス

創立百周年を迎える 久原小学校

校長 松沢 竹夫



本校が地域の熱意と物心両面にわたる支援を受けて、池上小学校より独立し、久原尋常小学校として開校したのは明治二十六年四月一日のことでした。あれから、わが国の発展、学制改革等幾多の試練を受けながらも何回も変わりましたが平成五年には、いよいよ創立百周年を迎えることになりました。学校に保存されている古い卒業生台帳をひもといてみますと、開校時の児童数は次のように記録されています。

四年生 三名(男一、女二) 全校で二十八名でした。したがって、第一回の卒業生は三名ということになります。それから九十七年間の卒業生総数は一万六百二十三名でこの三月には一万七百名を越えました。一口に百年と言いますが、一世紀という年月は大変な時間です。特に明治以降の世の中の激しい変遷をかえりみる時、風雪に耐え、地域住民の心よりどころとして灯をともし続けた歩みは、極めて貴重なものといえるでしょう。創立百周年という記念すべき大事業を成功させるためには、学校の力だけでは不可能

です。在校生、PTAは勿論のこと、久原小学校を卒業された同窓生や地域にお住まいのみなさんのお力をお借りしなくてはなりません。昨年暮から、PTAを中心にして、準備が始まりました。幸い、同窓会長であり、久が原地区自治会連合会長でもあられる三木兼吉様に実行委員長をお引き受けいただきました。他の役員の人選はこれからでございます。お願いにあげました折は、是非快くご承諾下さいませ。お願い申し上げます。なお、お手許に久原小学校や久が原地区に関する古い資料がございましたら、お貸し頂きたく存じます。また、同窓会名簿の整理も行いますので、消息をお知らせ下さいませ。以上、ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

響け和太鼓 子供等の胸に

松仙小学校PTA

総力を挙げての快音

澄み渡る青空の下、今年も校庭いっぱいにはきねの音と、子供達の歓声を響かせた松仙小学校のもちつき大会の日。『久原おはやし睦』による祝いの囃子が鳴り響きました。新しく購入された和太鼓の打ち初め式を終えた後のひとときです。美しい音色の笛に合わせ、踊るような小太鼓と、おなかの中までもみみる大太鼓の音、いかにも新年もちつき大会にふさわしい雰囲気を感じ上げていました。この和太鼓は、松仙小PTAが総力を挙げて、昭和五十八年二月から取り組んできた、古紙回収の収益金により購入



打ち初めをする和太鼓

平成二年度 区政功労者

去る三月十五日、区民プラザで、「大田区政功労者表彰式」が開かれ、自治会・町会(会長・副会長)をはじめ、三百三十九人の方々が表彰されました。

ここに、久が原管内、平成二年度区政功労者の皆さんの名前をお知らせ致します。

- 民生委員
- 平林 よ志子様(久が原西)
- 宮田 千代子様(久が原東)
- 自治会・町会(会長・副会長)
- 三木 忠男様(久が原西)
- 三木 秀雄様(久が原西)
- 青少年委員
- 石垣 具子様(道々橋)
- 多額寄付者
- 戸田 彰(公衆用道路)



久原尋常小学校校舎

(明治末年)

「冬の庭インコとびくろの嫁の餌」、今年八十四歳になる義父の昔の句です。餌づけのルールを守って十一月頃から三月迄、庭の餌台にヒマワリの種、ミカン、リンゴ等をおいてみると、久が原には驚くほどたくさん種類の野鳥がいて、それが分かります。テレビでも紹介された野鳥のインコが仲間入りをしたのは三年程前のことでした。身体が大きいので七、八羽も集まると壮観です。常連は、スズメはもちろんです。メジロ、シメジロ、カラ、ヒヨドリ、ムクドリ、オナガ、カワラヒワ、キジバト、そして時にはウグイスやゴゲラたちが遊びに来ます。オレンジ

久が原は鳥の街



大田区都市環境部発行
大田区の鳥「ウグイス」から抜粋

画=郡 慧子

食べ散らかします。毎日訪ねてくる友達なのにどの鳥もみな用心深く、ストレスで胃潰瘍にでもならないかしらと心配になります。二月のある日めずらしい鳥が現れました。スズメより少し大きく色はグリーン、オレンジ色のペレリをかぶり、胸元にはパープルのスカーフが流れ、口ばしは細く少々長く、時々さびしげにピーピーと鳴いています。葉の落ちた白樺の枝に止まると、とてもすてきでした。他の鳥と違って人おじせがなり近づいて観察してもなかなか逃げようとはしません。すっきり可愛いくなっている。いろいろ本など開いて調べてみましたが、何という鳥なのかどうしてか分かりません。ところが二月末の寒い北風が吹いた日からこの子ビチャがばったり現れなくなりました。なくなりました。子供が一人いなくなりました。毎日好物のフルーツを用意しても一度現れる日までと頑張っています。久が原の野鳥には嫁の餌でもどうにもならない気まぐれ屋さんがいるようです。F・T

間に分離し、隠退網によって覆い隠され、附近には、営舎や、附帯設備が設置され、ほど遠い久が原一丁目付近には、地下に弾薬庫が設けられたといわれています。しかし、軍事一色の時代には、そこに何かがあるかの選択は許されるべくもなく、住民は、唯々諸々の体であったに違ひありません。戦後の久が原は、食糧生産地として都内に栄え、かつ、住宅地の開発にあたり、住宅が建ちはじめ、かつての高射砲陣地の台座も、はじめ四基のものが、すべて撤去され

高射砲陣地跡を顧みる

武蔵野の丘陵地帯として多摩川に連なる久が原地域は、平地よりいくらか高く、ゆるやかな起伏のある地形で、昔から農耕に適し、豊饒な土地といわれています。しかし、この平和そのものの地域も、かつて、太平洋戦争の折、軍は、一帯の高地を首都防衛の体制に組み入れ、防空上の要衝として空襲に備え、高射砲陣地（現久が原三十一・三十二地先）を構築していたのです。

東京への空襲は、昭和十七年四月十八日が最初で、太平洋上からの艦載機によるものであったと伝えられています。当時、戦時品製造の盛んな城南地区は各種の軍需工場が多く、外壁はカムフラージュを施して敵機の来襲に備えていました。いつぼう、敵機来襲に備えての高射砲陣地は、いやがうにも重要性を増していたといえるでしょう。従って、陣地は畑地や林の

出世観音 風船供養

復活して第二回目の「出世観音の風船供養」が、三月二十四日出世観音商店会の主催で開催されました。この風船供養とは御先祖の



風船を飛ばし御先祖を供養します

戒名を風船に付けて御菩提を念じながら飛ばし供養をするというものです。当日は正午より安祥寺の小島上人により、荘厳な供養がなされ、参集された人々の手により御先祖の菩提を念じながら風船を空中に飛ばして行先を語り合いました。当日は子供達にラムネやポップコーン、綿あめが無料で配られ、大変好評でした。今後この行事を定着させ、将来は久が原の名物祭りになりたいと会員一同張り切っています。終わりにこの行事に協賛を頂いた自治会、喜楽会、地域の皆様にご心より御礼申し上げます。今後とも尚一層のご協力をお願い申し上げます。出世観音商店会 南澤 晴好

喜楽会

管内の団体紹介 「和やかに、楽しく、会員の親睦を第一に、一日でも長く続けたい。」篠沢くに会長。の願ひ通り喜楽会は来年二十五周年を迎える。会員百二十名平均年齢七十五才、毎週火曜日西部八幡社務所で、



舞踊を楽しむ喜楽会の皆さん

委員会からのお知らせ

住まいの中のダニ 最近、室内に生息するダニの被害が目立っています。ダニに刺されると、かゆくなったり、皮膚炎をおこしたりします。また、アレルギー性疾患（アレルギー性鼻炎、ぜんそく、アトピー性皮膚炎など）をおこす原因はいろいろありますが、室内ダニもその一つだと言われています。原因となるダニとして、ヒョウヒダニ類（チリダニ）とツメダニ類があげられます。室内の清掃をこまめにおこない、ダニの駆除に努めましょう。ご相談は大田区役所衛生部衛生課環境衛生係へ ☎(3773)5254

編集後記 ○懸念されました湾岸戦争も収まり、身近かな選挙も済みまして、行政も、自治も、新しい年度を迎えました。○情報誌「くがはら」も、私達、編集二年目を迎え、より多くのご意見、ご希望を願いながら、通完第4号をお届けいたします。○これからも、地域のニューズをお寄せ下さいますよう編集委員一同お待ちしております。 (かわまた)